

校内研修活性化 事例紹介

—ICTを活用して効率的・効果的に—

勝央町立 勝央中学校



校長より

研究主任を中心に、校内研修推進チームで、目指す生徒像・学校の姿をゴールに、学校経営A.P.を、より具体化した校内研修のグランドデザインを作成し、全教職員に周知し1年間の教育活動がスタートしました。非常勤・短時間勤務等で研修に参加できない先生のために、説明動画をポータルサイトに上げるなど、個々のタイミングで研修できる環境を整えています。職員室で授業づくり・集団づくりなど生徒の話題が絶えず主体的に教育活動に取り組む風土の醸成を感じています。



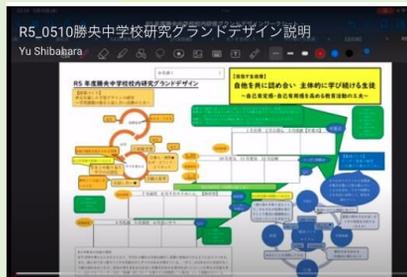
効率的・効果的に授業を観合い語り合う風土の醸成が進む取組を取材しました



効果的なICTの活用が同僚性を高め、主体的な教育活動につながっています。



活性化ポイント① 「グランドデザインの共有」

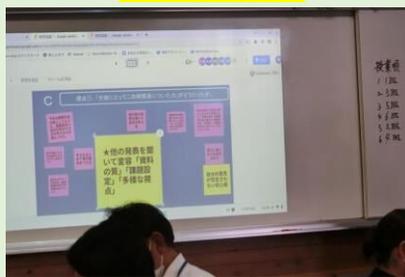


【グランドデザインの作成と自分事化】

校内研修のグランドデザインを作成するとともに、各学年の各時期に目指す姿を具体的に考える取組で、グランドデザインを自分事にできるようにしました。

また、動画を作成し、目指す生徒像や校内研修の方向性を共有しました。

活性化ポイント② 「ICTを活用した授業研究」

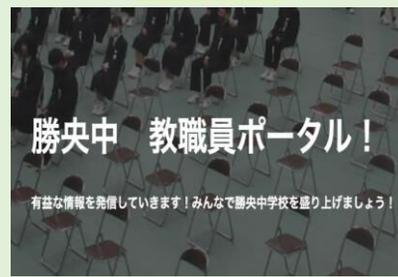


【時間と空間の制約を越えて】

ICTで効率的、効果的な授業研究に挑戦しています。

- ・共同編集やコメントの機能を活用した指導案検討。
- ・授業のポイントや参観視点、協議の流れ等を示した事前動画の配信。
- ・共同編集機能を活用した研究協議。

活性化ポイント③ 「ポータルサイトの活用」



【ICTを活用した実践交流】

Googleサイトを活用した「職員ポータル」を作成し、実践交流を行っています。(以下はその一部)

- ・ホーム：一人一回の授業公開一覧に関するページ。
- ・Sho-Stagram：写真や動画を用いた実践交流の場。
- ・おとなの学び愛：指導教諭の授業参観シートの共有の場。

勝央中学校では、R5年度、総合教育センターの専門研修とも連動し、ICTも有効に活用しつつ、授業研究の風土づくりに挑戦をしています。その中で、全体を巻き込む仕掛けを工夫されていることがとても印象的でした。



リーフレット
「授業を探究する学校」の
ダウンロードはこちら

